

丸山木材工業(株)

中津川市・木材製品製造卸業

平成26年度
認定

木材製品製造・卸、住宅建築を手掛けるマルヤマグループの母体企業。グループ内には杉の子幼稚園、すずめっこ杉の子幼稚園のほか、3つの保育園もある。充実した家族手当や有給休暇の取得促進、子育て相談窓口の設置など、子どもの成長に応じたサポートを実施している。

従業員数／男性41名 女性5名 計46名 ※平成28年3月1日現在



子どもたちも参加したアンベール事業部の感謝祭。
社員同士の交流も深まる。

多彩な制度で成長見守る

住宅建築・リフォームを行う丸山木材工業は、電子基板製造のイワビシ、杉の子幼稚園など4社2法人が多角的な事業に取り組み、マルヤマグループの母体企業。社員の子育て支援・福利厚生については、これまでに多くの制度を構築してきた。

社員の子育てを支援するため、

第二子は月額5千円、第三子は7千

円、第三子以降は1万円の家族手当を高校卒業まで支給。さらに育児短時間勤務のほか勤務時間のスライド、半日単位の有給休暇付与などの制度も実施している。経済面だけでなく、勤務時間の柔軟性などを高め、社員の子育てを強力にバックアップしている。

こうした制度を構築する一方、職場の過半数を占める男性の意識改革を図るため、1歳〜小学生の子を持つ社員を対象に、杉の子幼稚園の郷田恵美園長による社内研修「子育てミニ出前講座」も実施。男性社員の積極的な育児参加を、会社として呼び掛けている。

妻の出産時に休暇を取得した加藤貢さんはこの社内研修に参加し「家庭の子育てには夫の協力が不可欠と知り、第三子の出産時には妻に付き添いました」と、家族の絆を強めることができた喜びを話す。



丸山木材工業アンベール事業部では、国内有数のトップブランド・東濃ヒノキを使った家の建築・リフォームを行っている。

また、最大連続5日間のリフレッシュ休暇取得、子育ての悩みや育児休業明けの就労相談などができる「子育て相談窓口」も設置。パラエティ豊かな取り組みと制度で、社員が長く勤められる環境を整えている。